

第28回 熊野灘の漁業を考える

「水産業におけるICT活用の現状と課題」

日 時：2019年2月16日（土）13:00～17:00（受付12:30～）

場 所：三重県漁連のり流通センター3階会議室（松阪市中央町465-1）

共 催：一般社団法人水産海洋学会，熊野灘漁業を考える会，三重県水産研究所

後 援：三重県漁業協同組合連合会

コンビーナー：伊藤宣毅（考える会），山川 卓（東大院農），津本欣吾，宮本敦史（三重水研）

【プログラム】

- | | |
|---|---|
| 1. 挨拶：大関芳沖（一般社団法人水産海洋学会長）
伊藤宣毅（考える会代表） | 13:00～13:10 |
| 2. 趣旨説明：遠藤晃平（三重水研） | 13:10～13:20 |
| 3. 話題提供
座長：松田浩一（三重水研），水口忠久（考える会） | |
| (1)水産業におけるICT活用の先行事例
～三重県における衛星リモートセンシング技術の活用～
久野正博（三重水研） | 13:20～13:50 |
| (2)鳥羽商船高等専門学校における取組
①ドローンと水中カメラによるアカモクの資源管理
②スマートフォンを用いた海苔養殖の画像閲覧
③人工知能を用いた海面養殖向けの自動給餌 | 江崎修央（鳥羽商船高専）
齋藤勇馬（鳥羽商船高専）
尾崎瑠海（鳥羽商船高専）
河口 祭（鳥羽商船高専）
13:50～14:40 |
| (3)魚類養殖における飼育管理へのICT活用事例
橋本 純（三重外湾漁協） | 14:40～15:05 |
| (休 憩) | 15:05～15:20 |
| 座長：藤田弘一（尾鷲水産室），平山 厚（考える会） | |
| (4)水質データと漁獲量データを組み合わせた機械学習による漁獲量推定
鈴木翔太・多部田 茂（東大院新領域） | 15:20～15:50 |
| (5)三重県水産業におけるICT導入の検討
笹木大地（三重水研） | 15:50～16:15 |
| 4. 総合討論
座長：山川 卓（東大院農），津本欣吾（三重水研） | 16:15～17:00 |

開催趣旨：近年のICTやIoT等情報伝達技術の発達が目覚ましく、水産分野でも同技術の活用が期待されている。このような中、国2017年4月に閣議決定した水産基本計画において「ICTなどの新技術を活用し、漁船の運行や操業の省エネ化、省力化、低コスト化、効率化などの研究開発を行う」とICT等情報伝達技術をフルに活用した「スマート水産業」の推進を施策の重要な柱のひとつに位置付2019年度に向けた重点的な予算要求がなされている。一方、中小経営体の多い三重県の漁業現場では、依然として熟練者の経験や勘に頼った操業や作業、過酷な労働が多く、これが新規就業等の障壁となっている。このため、県内漁業者が容易に導入でき、操業や作業の省力化、効率化等に役立つ技術の開発が必要となっている。本研究集会では、県内で実施されている取組や研究事例を共有し、水産業におけるICT活用の現状と導入・普及に係る課題を抽出整理し、漁業者、行政担当者、研究者等の関係者間で今後取り組むべき方向性を検討する。